

身体や心の機能改善と環境の調整による自立生活支援のプロフェッショナル！

作業療法学科

- 一般社団法人 リハビリテーション教育評価機構 認定校
- 一般財団法人 日本作業療法士協会 生活行為向上マネジメント推進協力校認定

| 昼間主 |

3年課程

●1学年:定員40名

リハビリテーション

心と身体

その人らしい生き方を支える

就職率

100%



取得できる資格

専門士

- 作業療法士(国家試験受験資格)
- 保育士(国家試験受験資格)

7 その人らしい生活を再建できるスペシャリストを養成します 7つのアピールポイント

1 就職率 100%

身体障がい者、精神障がい者、発達障がい児、認知症高齢者の支援など、多岐にわたる領域で活躍している作業療法士。地域からのニーズは高く、今後も必要な人材として県内外から多数の求人依頼があります。

2 関連施設を活用した現場で学べる作業療法実践

作業療法は、対象者の身体や心の健康を改善し、生活の質を向上させることを目的としたリハビリテーションの一分野です。関連施設で実践的に学ぶことで、教室での座学では得られない貴重な経験ができます。また、病院や老人ホーム、デイサービスセンターなどでの実習を通して対象者のニーズに応じた対応方法を学べます。

3 専門職として力をつけるための共同学習(1・2年生)の実施

1・2年生が共同で学び合うことで、専門職としての基礎力と実践力を養うことが可能です。この形式の学習では、学年間の役割分担を工夫し、専門的な知識やスキルを学ぶ機会を最大化することが目的です。この学習でチームワークを経験し、多職種連携に必要なコミュニケーション力を育みます。

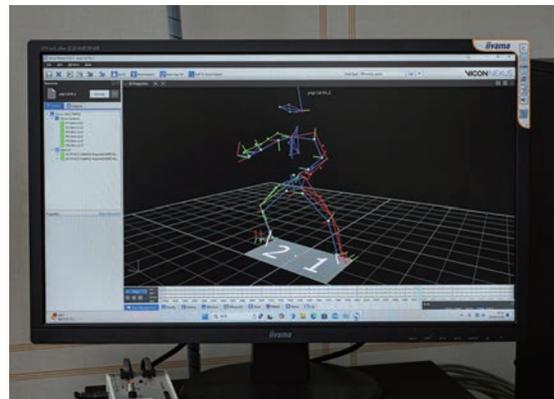
5 オープン・ダイアログが学生のうちから学べる

オープン・ダイアログ(Open Dialogue)は、精神医療やカウンセリングの分野で注目されるアプローチで、対話を中心に支援を行う方法です。このアプローチを学生のうちから学ぶことは、専門職としての基礎的な対話力、専門職に必要な「聞く力」や「共感的理解」を育み、言葉だけでなく、相手の感情や意図を汲み取る力を養います。1年次から学べることは、問題解決力や他者との協働力を養うためにも非常に有用なプログラムです。

6 琉リハ独自のカリキュラム リハビリテーション概論

理学療法士・柔道整復師・社会福祉士などの多職種の先生から、各職種の強みと役割について直接講義を受けることができます。

4 最新機器を用いた講義を実施



VICONはモーションキャプチャ技術の最前線を担うシステムであり、身体動作の詳細な分析やリハビリ、スポーツトレーニングなどの分野で幅広く利用されています。この技術を用いた講義は、学生が最新の実践技術を学び、専門職としてのスキルを向上させるために最適です。

7 作業療法で「大切なこと」

人の日常生活に関わるすべての活動を「作業」と呼びます。「作業」そのものを練習したり、心身の機能の回復や維持の手段として「作業」を行います。どんなことができるようになりたいか、できる必要があるか、何が期待されているかは一人ひとり異なります。その人が、その人らしく、健康や幸福を感じられることを目指して、一人ひとりに寄り添うことを作業療法では大切にしています。

